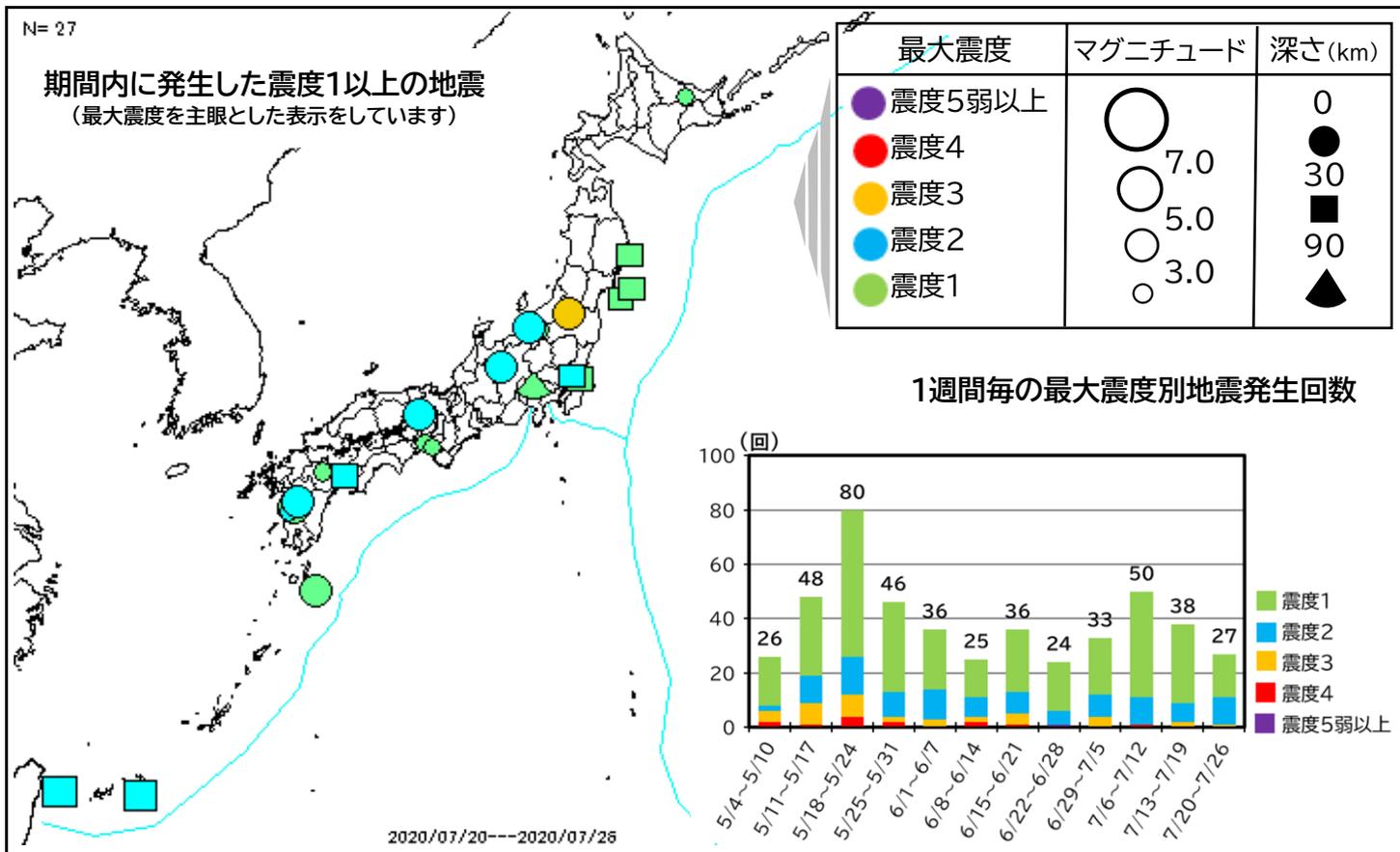


この期間の最大震度は3

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が27回発生。最大震度は3。■
- ・25日19時39分に福島県会津で発生した地震(M4.2、深さ7km)により、福島県喜多方市、北塩原村で震度3を観測した他、福島県郡山市、白河市、山形県米沢市、新潟県阿賀町などで震度2を観測した。この地震は地殻内で発生した横ずれ断層型。この周辺では、2011年3月から消長を繰り返しながら地震活動が続いており、この一連の活動の中で発生したもの(トピックスに詳細)。

トピックス

- 会津地方北部の地震 ■
- ・25日に福島県会津地方北部で発生した地震の周辺(福島県会津地方北部から山形県置賜地方にかけての地域)では、2011年3月18日から消長を繰り返しながら地震活動が続いている(図1、図2)。
- ・これまでの最大規模の地震は2011年5月7日に発生したM4.6(最大震度4)の地震で、M4.0以上の地震は今回が7回目である(図2)。
- ・これまでの最大震度は4であり5回発生している。震度3は今回を含めて23回発生した。震度3を観測したのは2014年12月16日(M3.7)以来である。
- ・この周辺の1923年8月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、M4.0以上の地震が時折見られるが、M5を超える地震は発生していない。
- ・しかし、1611年(慶長16年)に、この一連の活動域の南西約20kmで発生したM6.9の地震(会津地震といわれることもある)により、倒壊家屋が2万戸余り、死者は3,700人にも及ぶ大きな被害を伴った。
- ・また、複数の河川が合流する喜多方市内では地面の隆起や山崩れによって川が塞ぎ止められ新しい湖が生じた。このことにより近くの集落が水没して移転をよぎなくされた集落もある。
- ・会津地震は会津盆地西縁断層帯で発生したと考えられており、断層帯に沿って西側隆起の地震断層が生じており、現在でも一部を見ることが出来る。
- ・この後、会津地方北部では大きな被害を伴う地震は起きていない。

